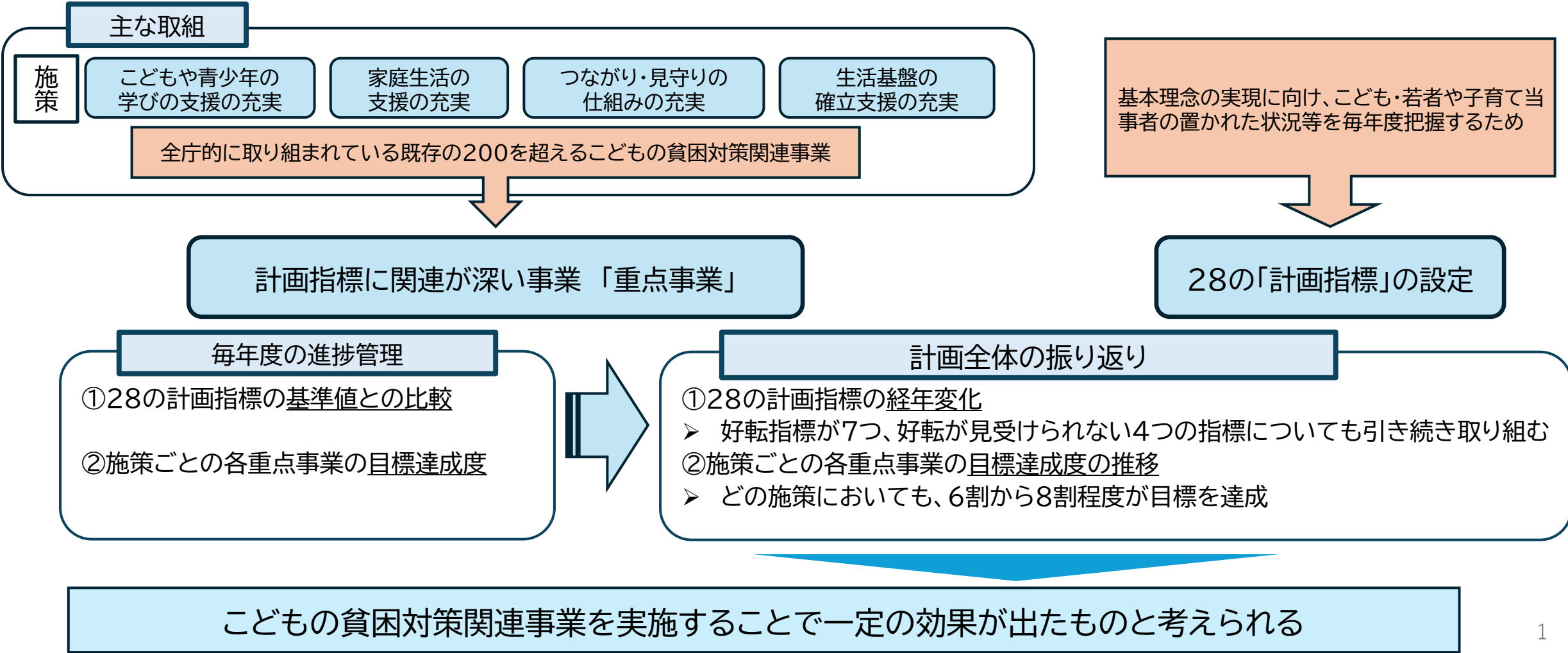


第1期計画における基本理念

すべてのこどもや青少年が、その生まれ育った環境にかかわらず、自らの未来に希望を持って何事にも前向きに取り組み成長し、他者とともに社会の一員として自立して活躍できる社会を、大阪のまちの力を結集して実現します。



計画指標の経年変化

◆第1期計画で設定した28の計画指標

区 分	番号	指 標
妊娠期	1	妊娠11週以内の妊娠届出率
乳幼児期	2	3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の平均受診率
	3	就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合
小学生	4	「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合
	5	普段、学校の授業以外でまったく勉強しない児童の割合
	6	不登校の割合
	7	朝食を毎日食べている児童の割合
中学生	8	「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合
	9	「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合
	10	「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合
	11	普段、学校の授業以外でまったく勉強しない生徒の割合
	12	不登校の割合
	13	朝食を毎日食べている生徒の割合
	14	生活保護世帯に属するこどもの高等学校等進学率

第1期計画の振り返り

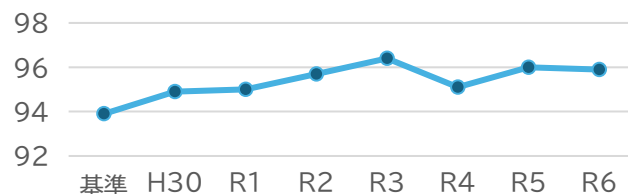
区 分	番号	指 標
中学生	15	生活保護世帯に属するこどもの就職率(中学校卒業後)
	16	児童養護施設のこどもの高等学校等進学率
	17	児童養護施設のこどもの就職率(中学校卒業後)
	18	「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合
高校生	19	生活保護世帯に属するこどもの大学等進学率
	20	生活保護世帯に属するこどもの就職率(高等学校等卒業後)
	21	生活保護世帯に属するこどもの高等学校等中退率
	22	児童養護施設のこどもの進学率(高等学校卒業後)
	23	児童養護施設のこどもの就職率(高等学校卒業後)
	24	ひとり親家庭等就業・自立支援センターで求職登録した方及び生活保護受給者等就労自立促進事業で支援した方の就職率
ひとり親	25	養育費の確保支援事業による離婚・養育費に関する専門相談の満足度
	26	こどもの貧困問題について関心がある市民の割合
	27	大阪市こどもサポートネットで支援につないだ割合
	28	里親委託率

好転している指標

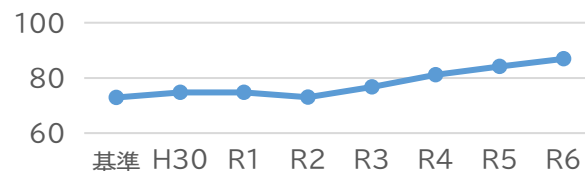
第1期計画の振り返り

※各指標の数値は、調査時期での直近値

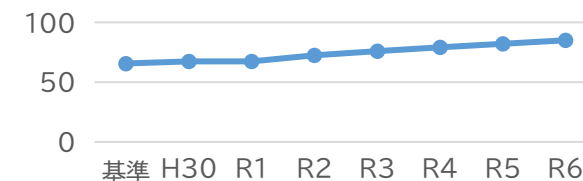
指標1.妊娠11週以内の妊娠届出率



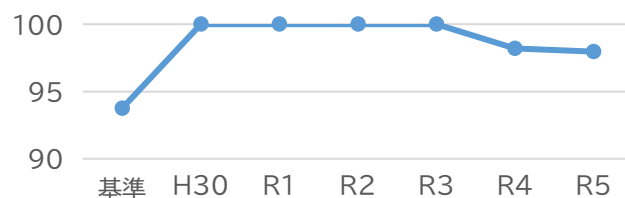
指標4.「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合(小学生)



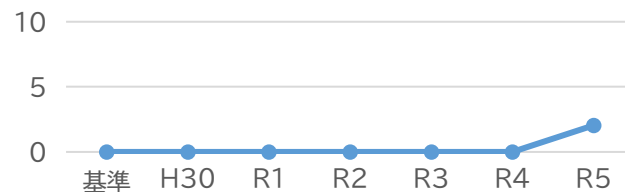
指標9.「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合(中学生)



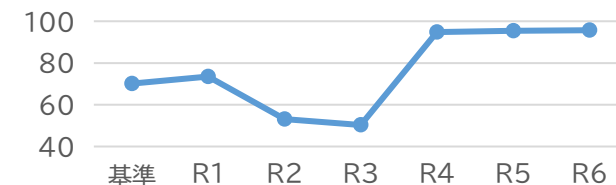
指標16.児童養護施設のこどもの高等学校等進学率



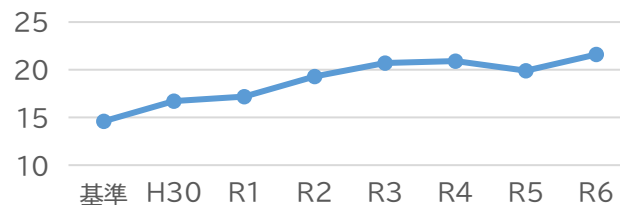
指標17.児童養護施設のこどもの就職率(中学校卒業後)



指標27.大阪市こどもサポートネットで支援につないだ割合



指標28.里親委託率

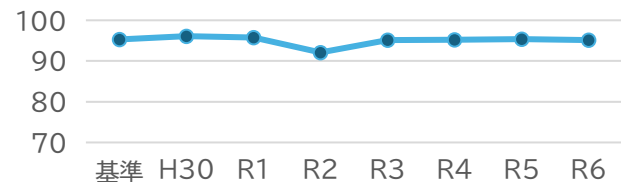


横ばいで推移している指標

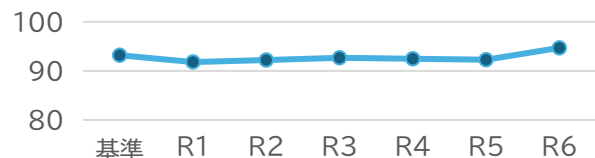
第1期計画の振り返り

※各指標の数値は、調査時期での直近値

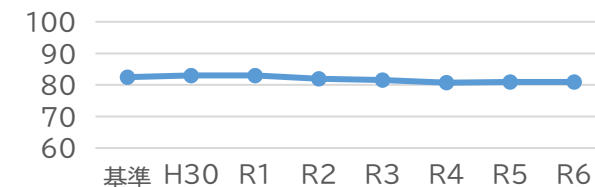
指標2. 3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の平均受診率



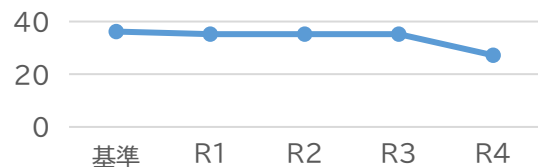
指標3. 就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合



指標7. 朝食を毎日食べている児童の割合(小学生)

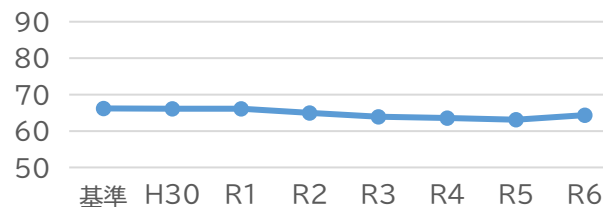


指標8. 「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合(小学生)

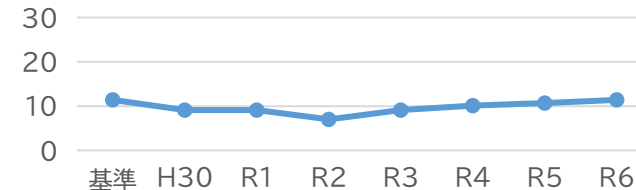


※R5以降、全国学力・学習状況調査のアンケート項目から削除

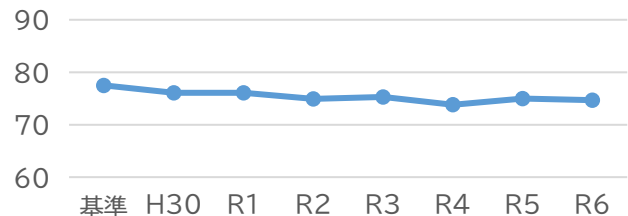
指標10. 「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合(中学生)



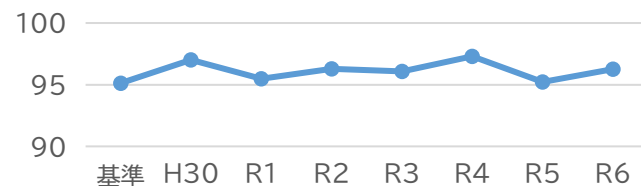
指標11. 普段、学校の授業以外でまったく勉強しない生徒の割合(中学生)



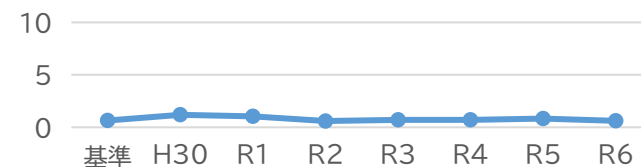
指標13. 朝食を毎日食べている生徒の割合(中学生)



指標14. 生活保護世帯に属するこどもの高等学校等進学率



指標15. 生活保護世帯に属するこどもの就職率(中学校卒業後)

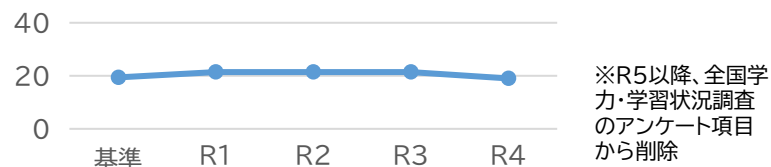


横ばいで推移している指標

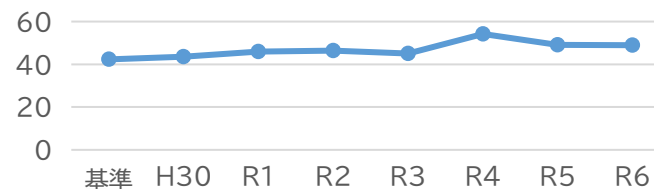
第1期計画の振り返り

※各指標の数値は、調査時期での直近値

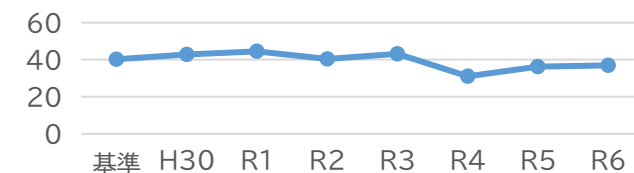
指標18.「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合(中学生)



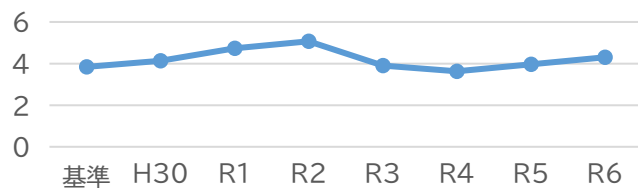
指標19.生活保護世帯に属するこどもの大学等進学率



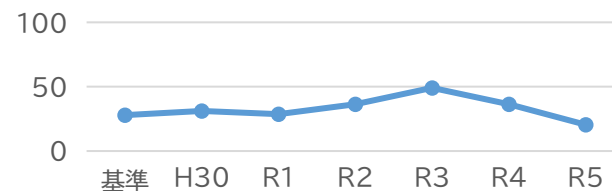
指標20.生活保護世帯に属するこどもの就職率(高等学校等卒業後)



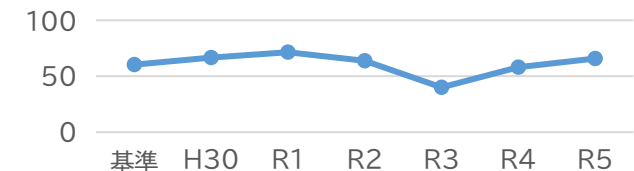
指標21.生活保護世帯に属するこどもの高等学校等中退率



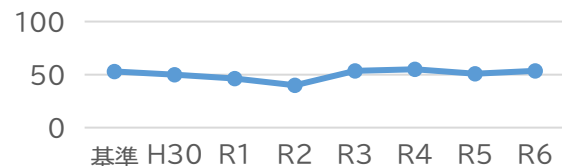
指標22.児童養護施設のこどもの進学率(高等学校卒業後)



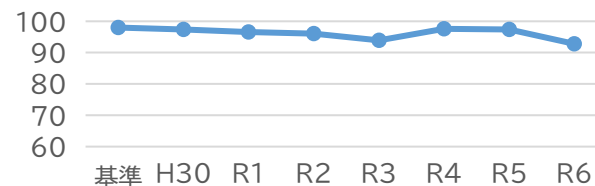
指標23.児童養護施設のこどもの就職率(高等学校卒業後)



指標24.ひとり親家庭等就業・自立支援センターで求職登録した方及び生活保護受給者等就労自立促進事業で支援した方の就職率



指標25.養育費の確保支援事業による離婚・養育費に関する専門相談の満足度

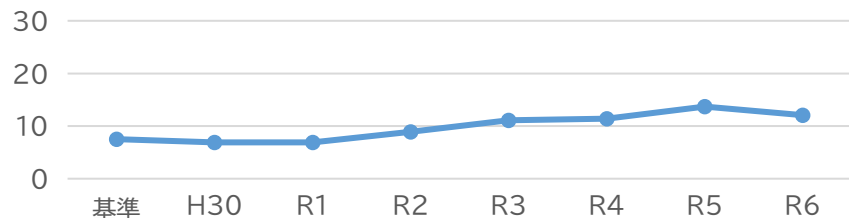


好転が見受けられない指標

第1期計画の振り返り

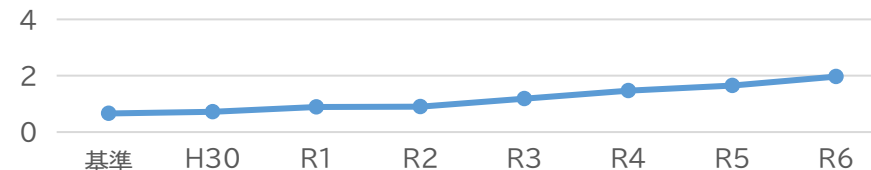
※各指標の数値は、調査時期での直近値

指標5. 普段、学校の授業以外でまったく勉強しない児童の割合(小学生)



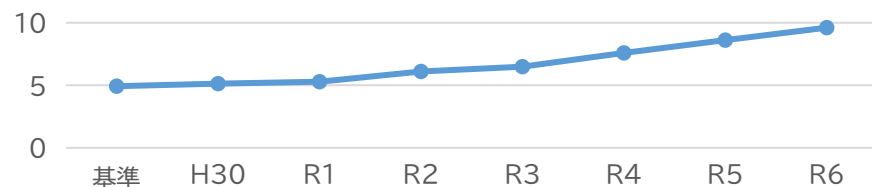
令和3年度よりデジタルドリルを導入するなど、デジタル教材を活用した自主学習・家庭学習の定着に取り組んでいる。引き続き放課後学習等の支援に加えて、家庭等における学習の支援に取り組む。

指標6. 不登校の割合(小学生)



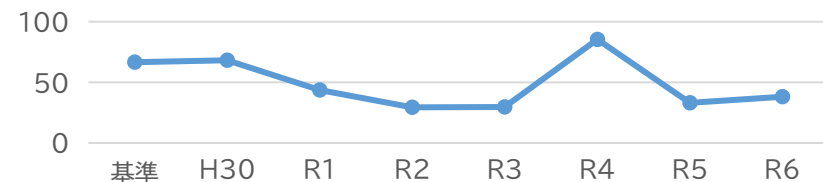
令和6年度より、校内教育支援センター(スペシャルサポートルーム)のモデル設置、本市における不登校にかかる総合的相談窓口として登校支援室「なごみ」を設置している。引き続き、不登校が生じないような魅力ある学校づくりを進めるとともに、多様な学習機会の提供に努める。

指標12. 不登校の割合(中学生)



令和6年度より、校内教育支援センター(スペシャルサポートルーム)のモデル設置、学びの多様化学校の開校、本市における不登校にかかる総合的相談窓口として登校支援室「なごみ」を設置している。引き続き、不登校が生じないような魅力ある学校づくりを進めるとともに、多様な学習機会の提供に努める。

指標26. こどもの貧困問題について関心がある市民の割合



R元年度以降、市政モニターによる回答から、民間ネット調査へとアンケート対象者が変わった。R4はターゲットを子育て世帯に絞って調査。多くの市民に関心をもってもらえるよう、引き続き周知に取り組む。

重点事業の進捗

第1期計画の振り返り

施策1 こどもや青少年の学びの支援の充実

No.	重点事業
1	就学前教育カリキュラムの普及・浸透
2	学校力UPベース事業（習熟度別少人数授業・専科指導）
3	学力向上支援チーム事業
4	学びサポーターの配置
5	習い事・塾代助成事業
6	学校図書館活用推進事業
7	子ども自立アシスト事業
8	スクールカウンセラーの活用
9	スクールソーシャルワーカーの活用
10	不登校等こどもにかかる相談体制の充実
11	進路選択支援事業
12	不登校児童通所事業
13	キャリア教育推進事業

施策2 家庭生活の支援の充実

No.	重点事業
14	ひとり親家庭等に対する相談・情報提供機能の充実
15	家庭教育充実促進事業
16	学校における食育の推進
17	妊産婦健康診査
18	養育支援訪問事業（専門的家庭訪問支援事業）
19	3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児健康診査
20	健全母性育成事業
21	小・中学校における「性・生教育」の推進
22	里親委託推進
23	小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）

施策3 つながり・見守りの仕組みの充実

No.	重点事業
24	子ども会活動の推進
25	青少年指導員・青少年福祉委員制度の推進
26	「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」事業
27	学校元気アップ地域本部事業
28	高校中退者への支援策
29	児童虐待防止啓発事業
30	こどもを守る地域ネットワーク機能強化
31	大阪市こどもサポートネットの構築
32	こども支援ネットワーク事業

施策4 生活基盤の確立支援の充実

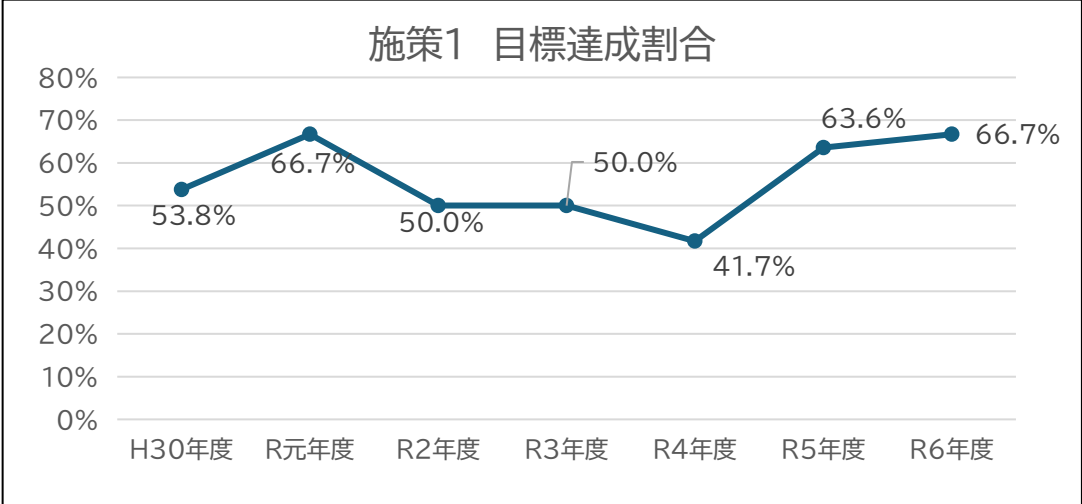
No.	重点事業
33	ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業
34	ひとり親家庭自立支援給付金事業
35	ひとり親家庭専門学校等受験対策事業
36	施設退所児童等社会生活・就労支援事業
37	養育費確保のトータルサポート事業

※令和6年度時点の重点事業

施策1 こどもや青少年の学びの支援の充実

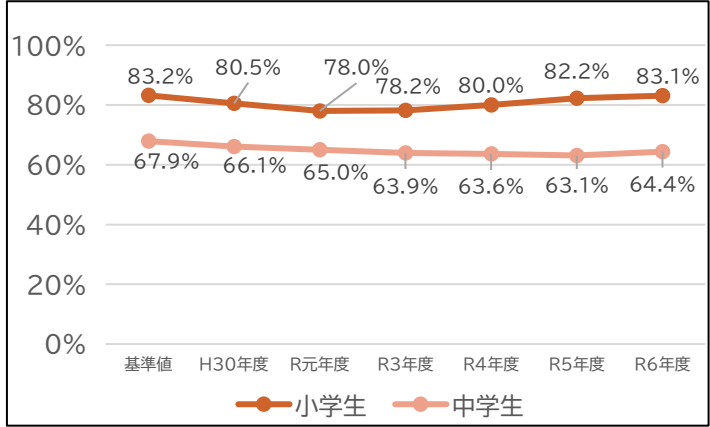
第1期計画の振り返り

No.	重点事業
1	就学前教育カリキュラムの普及・浸透
2	学校力UPベース事業（習熟度別少人数授業・専科指導）
3	学力向上支援チーム事業
4	学びサポーターの配置
5	習い事・塾代助成事業
6	学校図書館活用推進事業
7	子ども自立アシスト事業
8	スクールカウンセラーの活用
9	スクールソーシャルワーカーの活用
10	不登校等こどもにかかる相談体制の充実
11	進路選択支援事業
12	不登校児童通所事業
13	キャリア教育推進事業

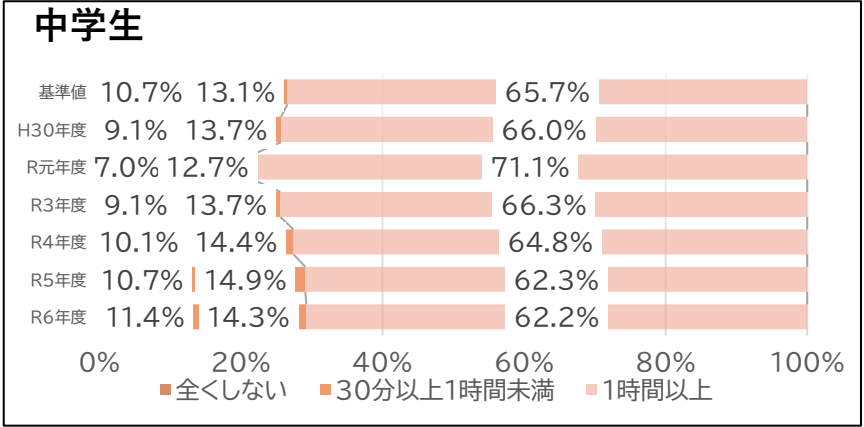
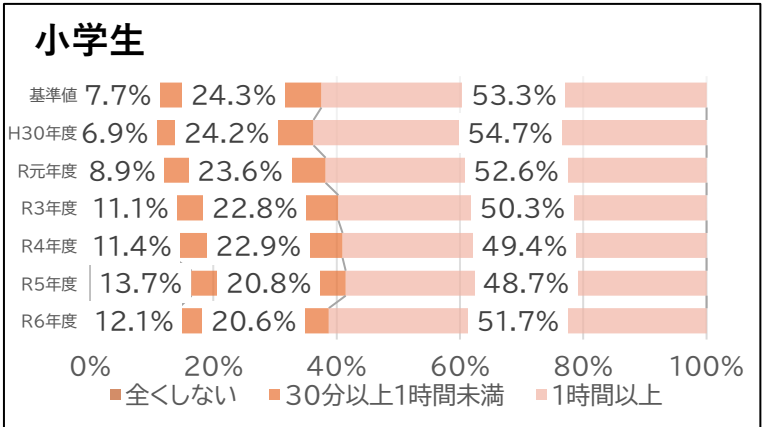


◆施策指標の推移【参考】

●将来の夢や目標を持っている割合



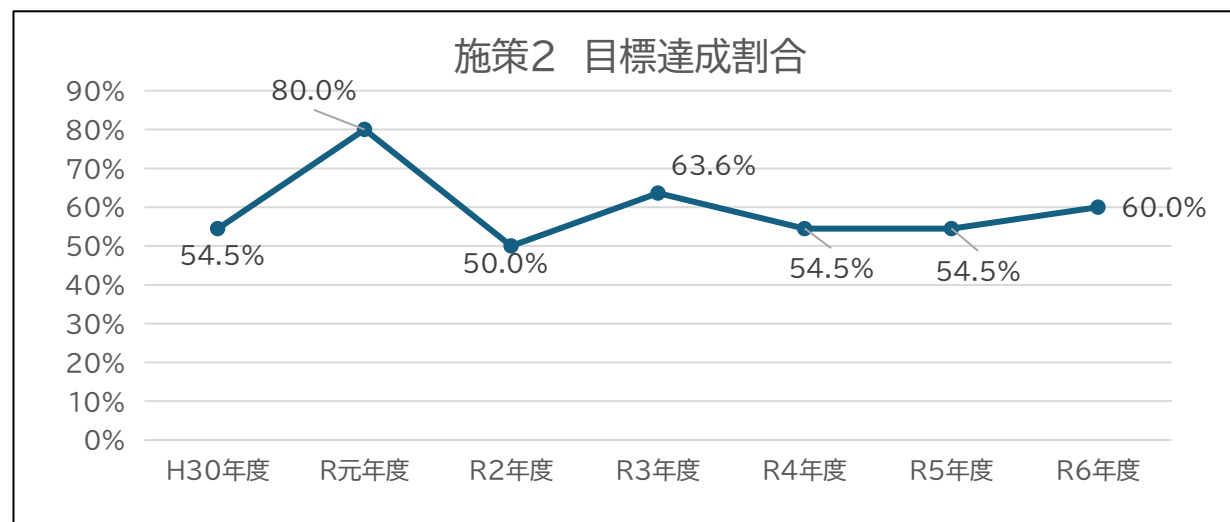
●学習習慣の定着(授業以外の勉強時間、予習・復習)



施策2 家庭生活の支援の充実

第1期計画の振り返り

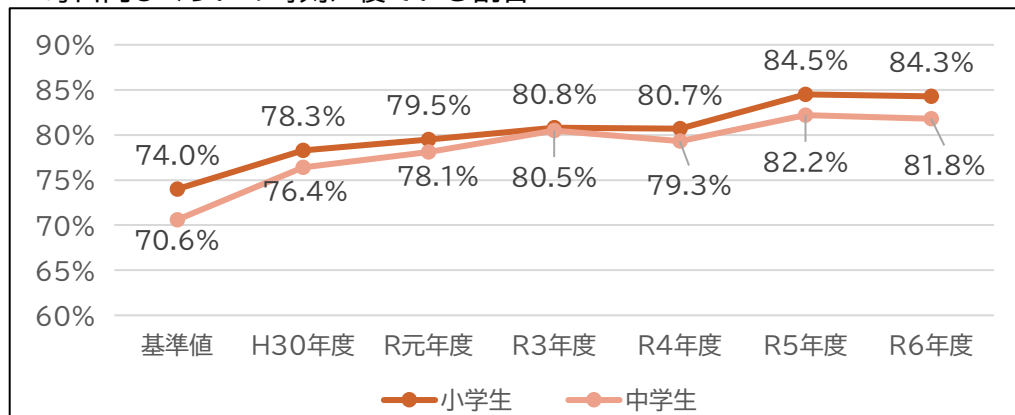
No.	重点事業
14	ひとり親家庭等に対する相談・情報提供機能の充実
15	家庭教育充実促進事業
16	学校における食育の推進
17	妊産婦健康診査
18	養育支援訪問事業（専門的家庭訪問支援事業）
19	3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児健康診査
20	健全母性育成事業
21	小・中学校における「性・生教育」の推進
22	里親委託推進
23	小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）



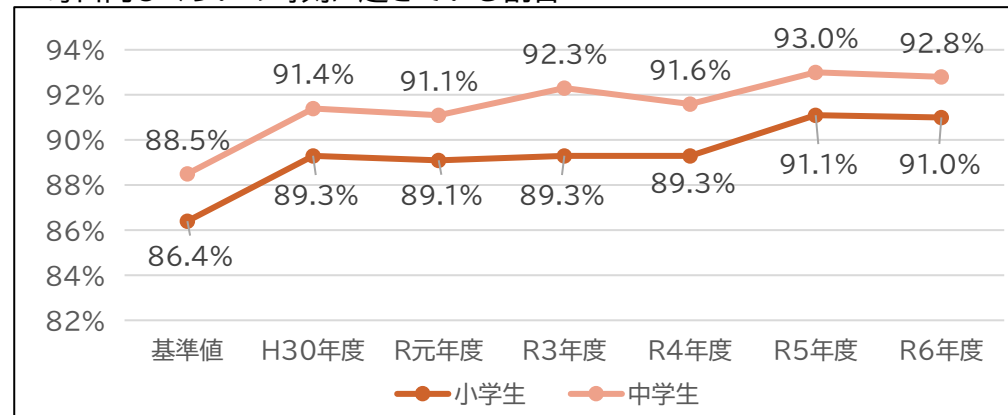
◆施策指標の推移【参考】

●起床・就寝時間の規則性

・毎日同じくらいの時刻に寝ている割合



・毎日同じくらいの時刻に起きている割合

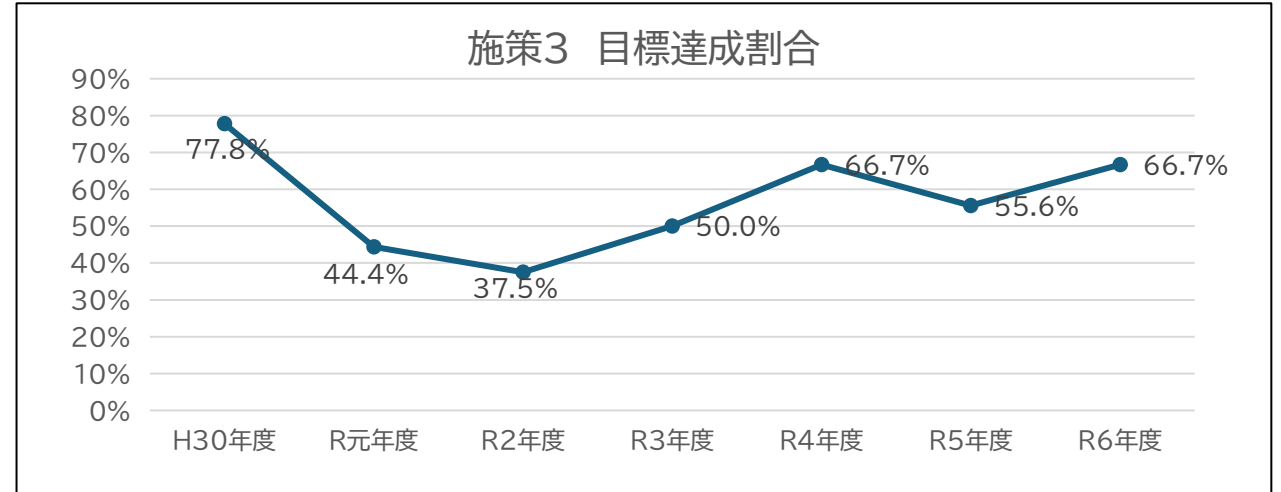


(注)R2年度は調査なし

施策3 つながり・見守りの仕組みの充実

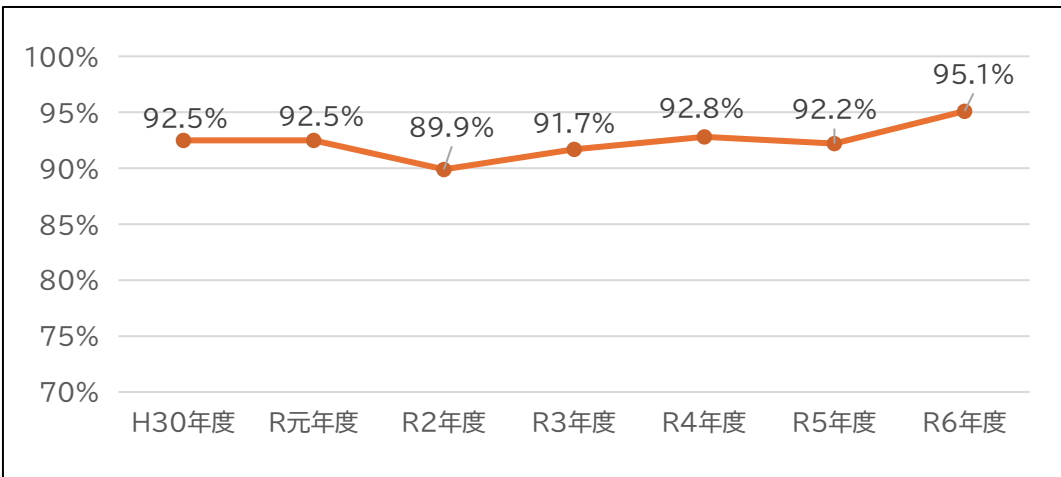
第1期計画の振り返り

No.	重点事業
24	子ども会活動の推進
25	青少年指導員・青少年福祉委員制度の推進
26	「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」事業
27	学校元気アップ地域本部事業
28	高校中退者への支援策
29	児童虐待防止啓発事業
30	こどもを守る地域ネットワーク機能強化
31	大阪市こどもサポートネットの構築
32	こども支援ネットワーク事業

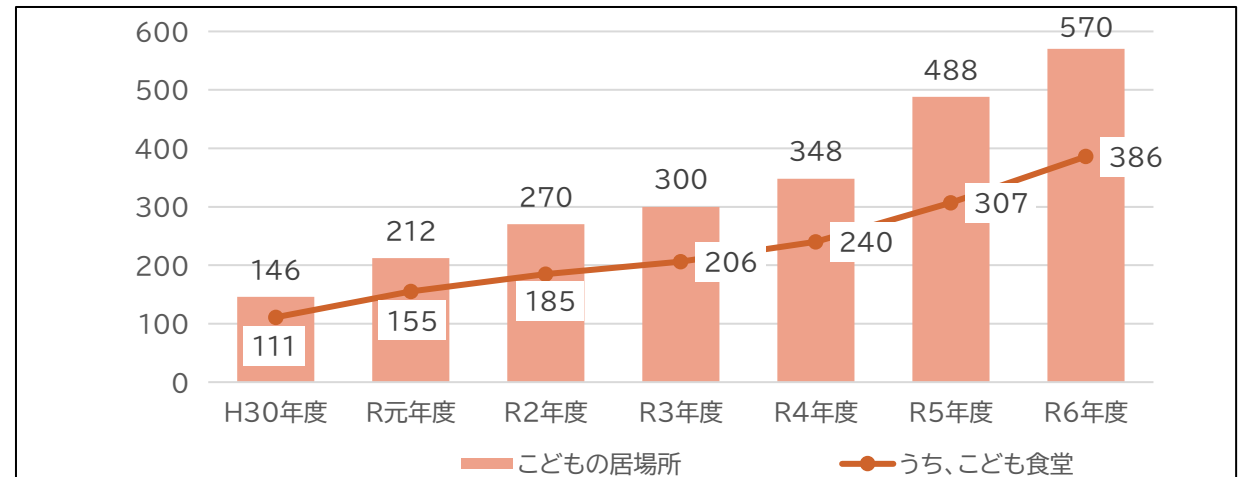


◆施策指標の推移【参考】

●こどもサポートネットにより総合的な支援に役立ったとする学校の割合



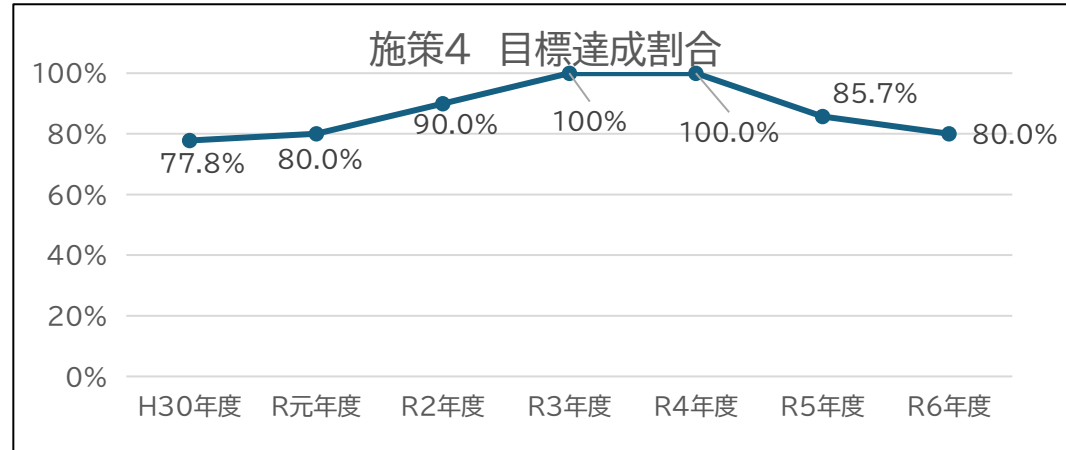
●こどもの居場所数(こども食堂含む)



施策4 生活基盤の確立支援の充実

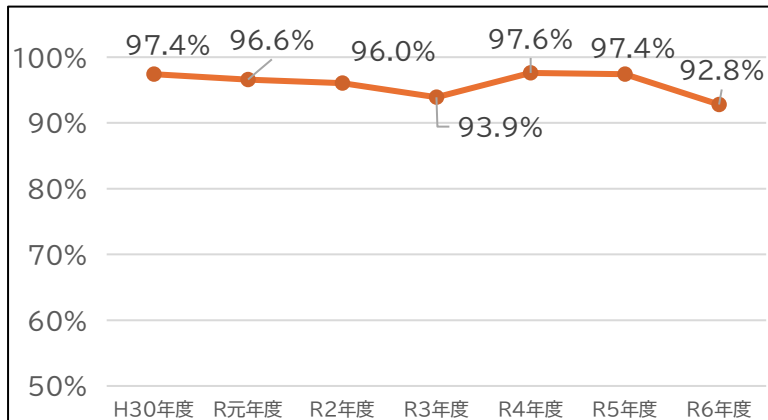
第1期計画の振り返り

No.	重点事業
33	ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業
34	ひとり親家庭自立支援給付金事業
35	ひとり親家庭専門学校等受験対策事業
36	施設退所児童等社会生活・就労支援事業
37	養育費確保のトータルサポート事業

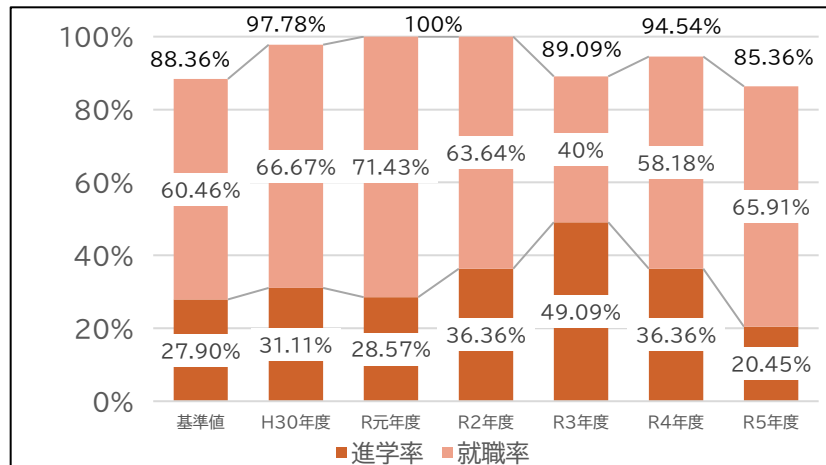


◆施策指標の推移【参考】

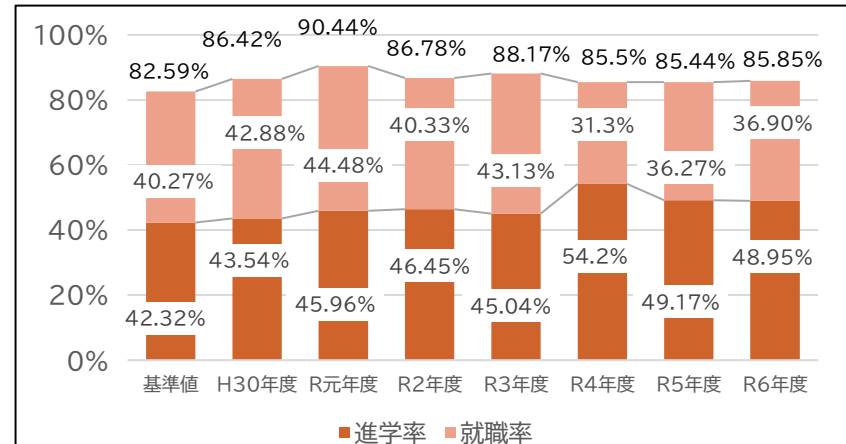
●「離婚・養育費」に関する専門相談の利用者の満足度



●児童養護施設のこどもの進学及び就職率(高等学校卒業後)



●生活保護世帯のこどもの進学及び就職率(高等学校卒業後)



大阪市こどもの貧困対策推進計画（第2期）

基本理念

こどもの貧困の背景には、様々な社会的要因があることを社会全体で広く共有し、貧困により、こども・若者がその権利利益を害され及び社会から孤立することがないように、現在の貧困を解消するとともに将来の貧困を防ぐため、必要な支援が切れ目なく行われることで、一人一人の豊かな人生を実現できる社会を、大阪のまちの力を結集して実現します。

重視する視点

・こども・若者が幸せな状態で成長できるための支援の推進 ・切れ目のない支援の推進 ・社会全体で取組を推進 ・アクセシビリティの充実

施策体系

施策1 学びの支援の充実

- (1) 幼児教育・保育の無償化と質の向上を図ります
- (2) 一人一人の状況に応じた学力向上の取組を推進します
- (3) 学びを保障し、望む進路の選択ができるよう支援します
- (4) 多様な体験や学習の機会を提供します

施策2 家庭生活の支援の充実

- (1) 子育て家庭における養育や教育を支援します
- (2) こども・若者や子育て当事者の健康を守る取組を推進します
- (3) ひとり親家庭等、特に支援が必要な家庭を支援します

施策3 生活基盤の確立支援の充実

- (1) 就業を支援します
- (2) 施設退所者等の自立を支援します
- (3) 仕事と子育ての両立を支援します
- (4) 経済的な負担の軽減を図ります

施策4 つながり・見守りの仕組みの充実

- (1) こども・若者や子育て当事者のつながりを支援します
- (2) 社会全体でこども・若者や子育て当事者を支援する取組を推進します

目標の設定

基本理念の実現に向け、家庭の経済状況によりこどもの生活が制約されることなく夢や希望を持ち挑戦できているか、支援を必要としている人に必要な支援が届いているかといった観点から数値目標を設定

めざす姿	実態調査等のアンケート項目	現状値(R5)	目標値(R10)
「こども食堂などへの参加を希望しているこどもが、参加できている状態」	こども食堂などの利用状況(利用したことがある割合) (困窮度Ⅰ～Ⅲ)※1	《小5・中2のいる世帯》 困窮度Ⅰ 13.2% 困窮度Ⅱ 10.8% 困窮度Ⅲ 11.6%	《小5・中2のいる世帯》 困窮度Ⅰ 30.4% 困窮度Ⅱ 28.4% 困窮度Ⅲ 28.7%
「経済的な状況にかかわらず、学習塾や習い事に行きたいと思う人が行ける状態」 ・学習塾とは、学習塾・進学塾、家庭教師、通信制の家庭学習教材など ・習い事は、英会話・そろばん・絵画・音楽・習字・スポーツなど	学習塾や習い事の利用状況(学習塾等、習い事をしていない割合) (困窮度Ⅰ～Ⅲ)※1	《小5・中2のいる世帯》 困窮度Ⅰ 31.4% 困窮度Ⅱ 25.1% 困窮度Ⅲ 22.0% (参考) ・中央値以上 11.8% ・小中計のうち、学習塾等、習い事をしていない割合18.7%	《小5・中2のいる世帯》 困窮度Ⅰ～Ⅲ それぞれ、18.7%
「こどもにとって不利益が生じることがないよう、養育費の履行が確保できている状態」	母子家庭における養育費の受領率※2	取り決めの有無にかかわらず 養育費の受領率(母子家庭) 26.8%	36.3%
		取り決めがある場合の 養育費の受領率(母子家庭) 57.4%	66.4%
「就学援助制度の対象であるにもかかわらず利用できていない状態の改善」	就学援助を利用しなかった理由(利用したいが制度を知らなかった・利用しにくいと回答した割合) (困窮度Ⅰ～Ⅱ)※1	《小5・中2のいる世帯》 困窮度Ⅰ 12.9% 困窮度Ⅱ 7.0%	《小5・中2のいる世帯》 困窮度Ⅰ 8.8% 困窮度Ⅱ 6.1%

※1 子どもの生活に関する実態調査 ※2 ひとり親家庭等実態調査

指標の設定

第2期計画の進捗管理

こども・若者や子育て当事者の置かれた状況等を毎年度把握するため、28の指標を設定

	現状値	
妊娠期・乳幼児期	妊娠11週以内の妊娠届出率	96.0%(R5)
	就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の教職員・保育者の割合	92.3%(R5)
小学生	「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合	84.1%(R6)※3
	普段、学校の授業以外でまったく勉強しない児童の割合	13.7%(R6)※3
	不登校の割合	1.97%(R5)※4
	朝食を毎日食べている児童の割合	80.9%(R6)※3
★	★ スクールソーシャルワーカーが継続支援している児童数	6,015人(R5)
★	★ スクールカウンセラーに相談を行った児童数(延べ人数)	8,725人(R5)※7
中学生	「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合	82.2%(R6)※3
	「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合	63.1%(R6)※3
	普段、学校の授業以外でまったく勉強しない生徒の割合	10.7%(R6)※3
	不登校の割合	9.61%(R5)※4
	朝食を毎日食べている生徒の割合	75.0%(R6)※3
	生活保護世帯に属するこどもの高等学校等進学率	95.21%(R5)※5
	生活保護世帯に属するこどもの就職率	0.84%(R5)※5
	児童養護施設のこどもの高等学校等進学率	97.96%(R5)※6
★	★ スクールソーシャルワーカーが継続支援している生徒数	3,616人(R5)
★	★ スクールカウンセラーに相談を行った生徒数(延べ人数)	8,486人(R5)※7

	現状値	
高校生以上	生活保護世帯に属するこどもの大学等進学率	49.17%(R5)※5
	生活保護世帯に属するこどもの就職率(高等学校等卒業後)	36.27%(R5)※5
	生活保護世帯に属するこどもの高等学校等中退率	3.97%(R5)※5
	児童養護施設のこどもの大学等進学率	20.45%(R5)※6
	児童養護施設のこどもの就職率(高等学校卒業後)	65.91%(R5)※6
★	★ 社会的養護経験者に対する継続支援計画の作成率、件数	100%、98件(R5)
ひとり親	ひとり親家庭等就業・自立支援センターで求職登録した方及び生活保護受給者等就労自立促進事業で支援した方の就職率	50.7%(R5)
★	★ 児童扶養手当受給者における養育費を受領している方の割合	14.8%(R5)
社会全体	こどもの貧困問題について関心がある市民の割合	33.0%(R5)※8
	大阪市こどもサポートネットで支援につないだ割合	95.4%(R5)

★ 新たに追加した指標

※3 全国学力・学習状況調査

※4 生活指導に関する調査(大阪市調査)

※5 令和6年4月1日現在厚生労働省社会・援護局保護課調べ 大阪市報告分

※6 令和6年5月1日現在雇用均等・児童家庭局家庭福祉課調べ 大阪市報告分

※7 「令和5年度スクールカウンセラー等活用事業」に係る実態調査(義務教育学校除く)

※8 民間インターネット調査

令和7年度～9年度

令和10年度

令和11年度

指標と目標

指標 ➤ 毎年度数値を確認 ➡ こどもたちを取り巻く環境の変化の確認



主な取組み

本市のこども・子育て支援施策のうち

貧困対策関連事業

➡ 各事業所管部署による目標設定に基づいた事業の実施

目標

➤ 令和10年度の実態調査
にて達成状況
を確認

目標の達成状況をふまえて、
引き続き取組を推進

「こどもの貧困対策推進本部会議」・「こども・子育て支援会議」において毎年度報告・点検を行う